

日南市まちづくり推進のための意識調査の概要

1 調査の概要

本調査は、平成 27 年度からスタートした日南市の新たなまちづくりの計画である「日南市重点戦略プラン」及び「日南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進のために実施したものです。

市民の方々が日常生活で感じている日南市の現状や期待される将来の姿などを把握し、「日南市重点戦略プラン」等に掲げる各種施策の展開において参考とすることを目的としています。

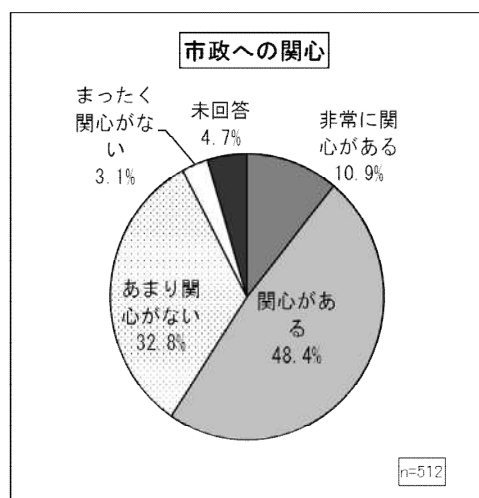
また、同じ内容（設問等）の調査を毎年度実施することで、経年的な市民の方々のニーズ等の把握にも努めます。

調査の方法等	
調査対象者	日南市に居住する満 16 歳以上の市民(住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法	郵送による配布・回収
配布数	1,991 票 【前回調査 1,989 票】 配布数 2,000 通から宛先不明による返戻等を除いた数値
回収数（率）	512 票（25.7%）【前回調査 574 票（28.9%）】
調査時期	平成 30 年 12 月 【前回調査 平成 29 年 12 月】

2 結果の概要

（１）市政への関心

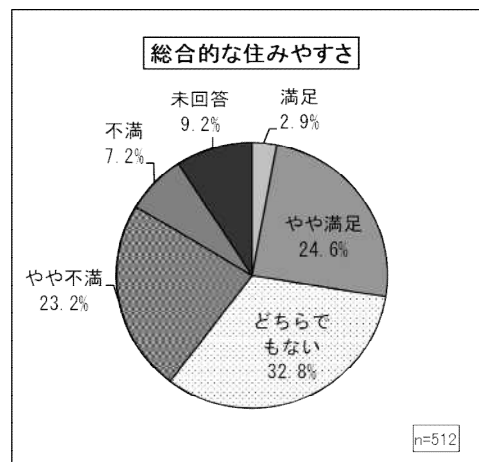
市政への関心については、「非常に関心がある」「関心がある」の合計が約 6 割を占め、市政に対して比較的高い関心が寄せられています。



（２）暮らしやすさの満足度と重要度

総合的な住みやすさに対する評価

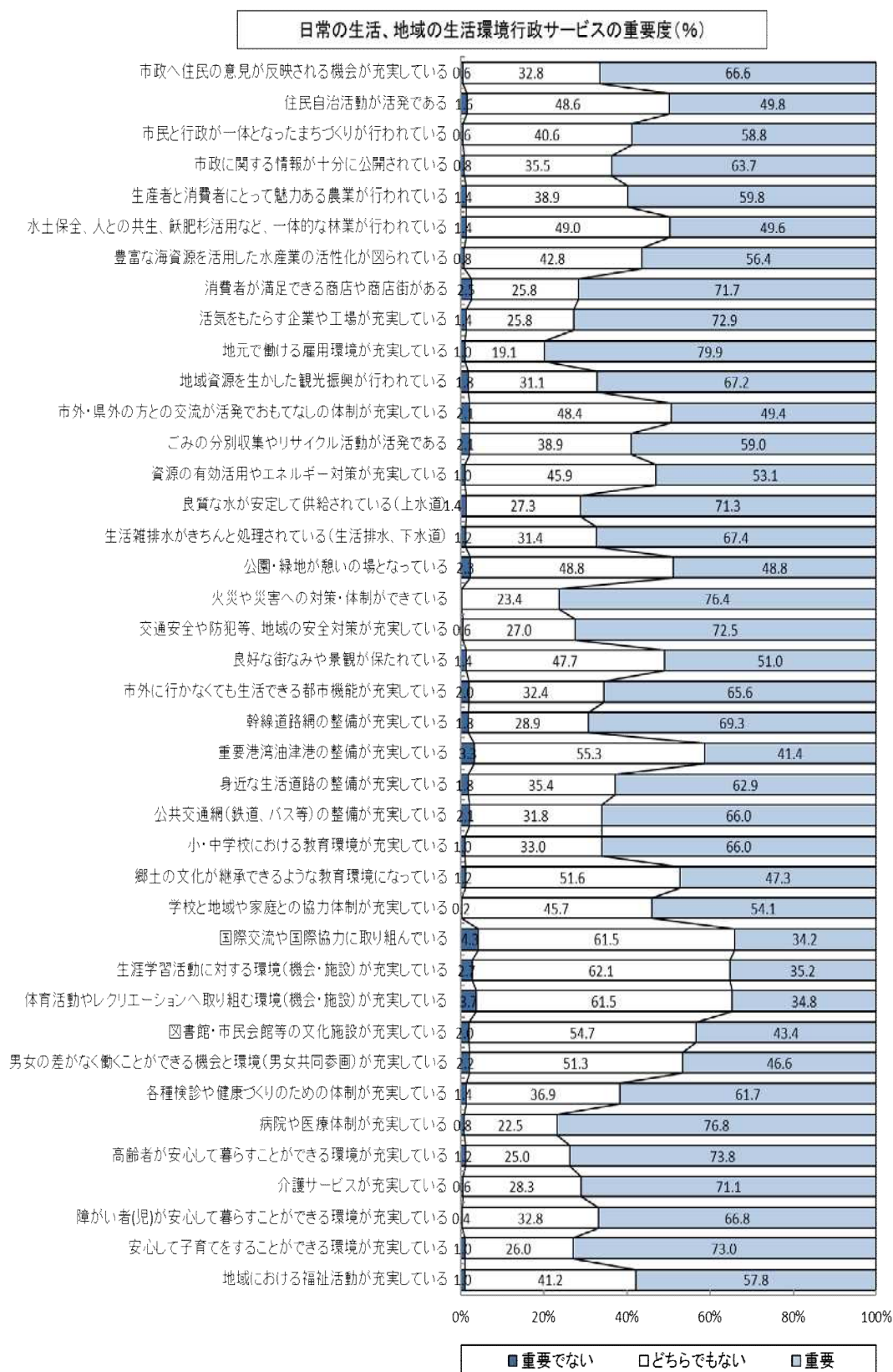
総合的な住みやすさの評価については、「不満」「やや不満」が 30.5%(前回 34.2%)に対して、「満足」「やや満足」の 27.5%(前回 29.8%)と、3.0 ポイント上回っています。



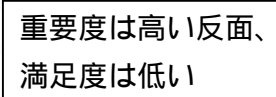
生活環境行政サービスへの満足度

生活環境行政サービスへの満足度について、「満足」「やや満足」の比率が高いサービスとして「良質な水の安定供給」が高く評価され、「生活雑排水の処理」「各種検診や健康づくりのための体制」等が続いています。

一方、「不満」「やや不満」の比率が高いサービスとして、「地元で働ける雇用環境」、「市外に行かなくても生活できる都市機能」「活気をもたらす企業や工場」「満足できる商店や商店街」など定住環境に関連する項目が上位に指摘されています。



重要度と満足度を評点化して関係性をみると、「地元で働ける雇用環境」「活気をもたらす企業や工場」「消費者が満足できる商店や商店街」「市外に行かなくても生活できる都市機能」などの定住環境に係る行政サービスにおいて、特に重要度は高い反面、満足度は低くなっています。

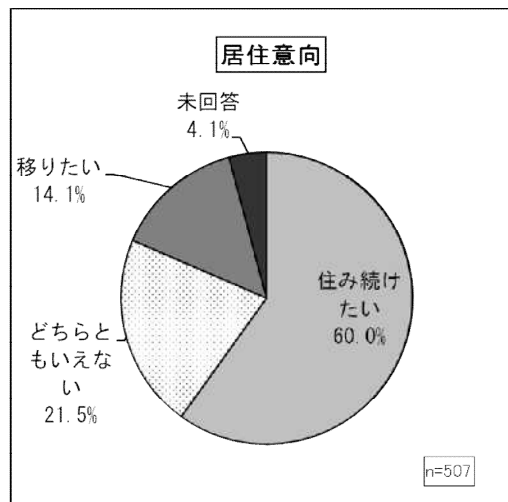


満足度	回答	配点	重要度	回答	配点
	とても満足	2		重要	1
	やや満足	1		どちらでもない	0
	どちらでもない	0		重要でない	-1
	やや不満	-1			
	不満足	-2			

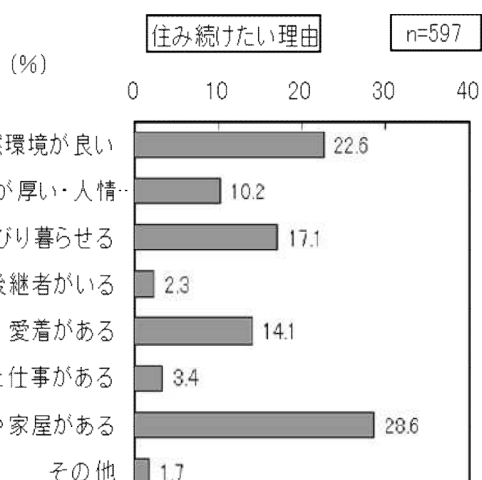
(3) 居留意向

6割の人が、「住み続けたい」としており、その理由として「土地や家屋がある」「自然環境が良い」ことを挙げる人が多くなっています。

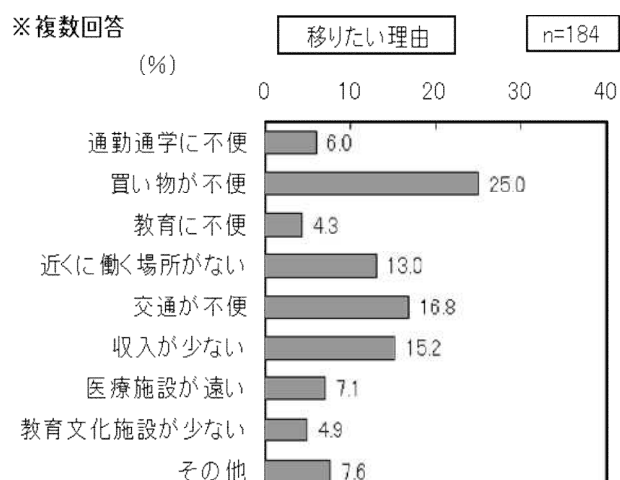
一方、「移りたい」とする人は、約14%を占め、その理由として「交通が不便」「買い物が不便」であることを挙げる人が多くなっています。



※複数回答



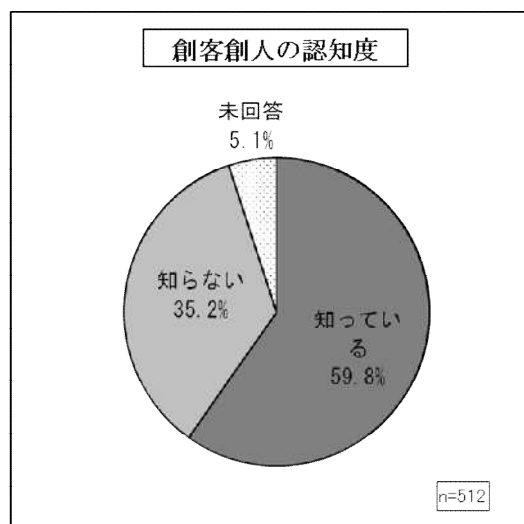
※複数回答



(4) これからのまちづくり

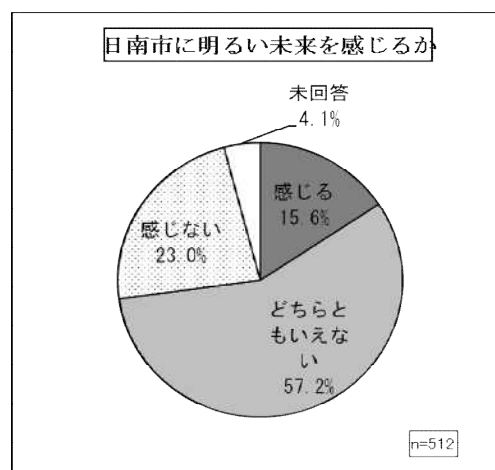
まちづくりのコンセプトの認知度

5割超の人が、日南市のまちづくりのコンセプトである「創客創人(そうきやくそうじん)」について、知っていると回答しています。



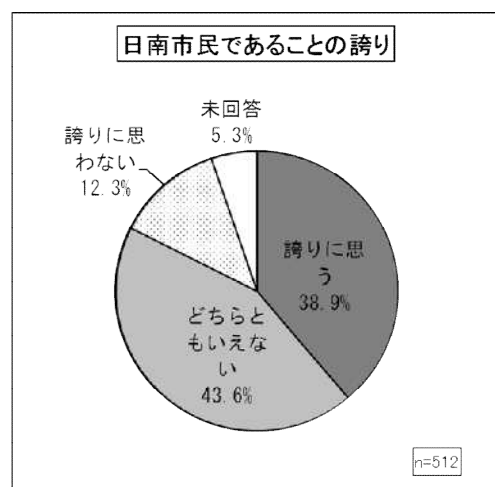
明るい未来

日南市に「未来を感じる」人の割合は、
2割弱にとどまっています。



日南市民であることの誇り

約4割の人が、日南市民であることを誇りに思っており、「誇りに思わない」人（約1割）を大きく上回っています。



本報告書の調査結果については、小数点第2位を四捨五入、集計しているため、合計が100%にならない場合があります。